医師による子ども虐待対応のための研修会

子ども虐待防止
オレンジリボン運動

危機的リスクを抱える 思春期児童を 孤立させないために









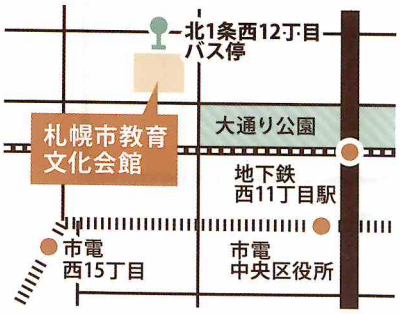
自傷・ODを繰り返すこどもたちのSOSの受け止め方と支援のポイント

リストカットや大量服薬（OD）を繰り返すこどもたちの背景には、
言葉にできない強い生きづらさやトラウマが隠れています。
「どう声をかければいいのか」「対応に自信が持てない」と
現場で頭を悩ませていませんか。

本研修では、思春期精神疾患や自死予防を専門とする精神科医が
こどものSOSの正しい受け止め方や対応策を解説します。
危機的リスクを抱えるこどもを孤立させないためのアプローチを学びます。

2027.1.13（水）
18:30~20:00
（開場 18:00）

参加無料



アクセス

札幌市中央区北1条西13丁目

- 札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅、1番出口から徒歩5分
- JR北海道バス、北海道中央バス「北1条西12丁目」から徒歩1分
- 市電「西15丁目」停から徒歩10分

定員先着 80名

申込 裏面をご参照ください。

申込締切 2027年1月6日（水）

会場 札幌市教育文化会館 研修室301



講師 札幌市西区保健福祉部 保健担当部長 **鎌田（かまだ） 隼輔（しゅんすけ）**

1987年に旭川医科大学を卒業し、同年精神医学教室に入局。大学院ではてんかんに関する実験的研究を行った。1995年から遠軽町、士別市、名寄市で精神科臨床に従事。2006年より北海道立精神保健福祉センターに勤務。2010年に札幌市に移り、精神保健福祉センター長として勤務。その後、児童相談所勤務、児童心療センター（現ちくたく）勤務を経て、再び精神保健福祉センター長として2025年3月まで勤務。2025年4月から札幌市保健福祉局障がい保健福祉部にて勤務。2026年4月から西区保健福祉部保健担当部長として勤務。これまで主に、自殺対策、ひきこもり対策、アルコール・薬物等依存症対策に従事。また産業医として、長年にわたり市職員の健康診断やメンタルヘルス対策、安全衛生管理などにも携わる。

［主催］札幌市児童相談所　［後援］札幌市医師会

SAPPORO

さっぽろ市
02-G03-26-2047
R8-2-1308

医師による子ども虐待対応のための研修会の申込

下記ホームページの申込フォームからお申し込みください。

https://forms.gle/xxLhNMs5BVKjC5oS6

申込期限は、1月6日（水）です。（定員に達した場合、期限前でも申込を終了します。）
インターネット等の利用環境がない方は、以下の参加申込書に必要事項を記入のうえ
ファクス（011-622-8701）でお申し込みください。

ファクスがない場合のみ、
電話（011-600-0195）（平日10:00から17:00まで）での申込が可能です。

ファクス申込書

※受講希望者で、インターネット等の利用環境がない方

お名前	フリガナ
連絡先TEL	
Mailアドレス	
職業（所属） ※該当するものに ✓ をつけてください	□ 医療機関（医師） □ 医療機関（看護師） □ 医療機関（ソーシャルワーカー） □ 医療機関（上記以外） □ 青少年育成委員 □ 児童会館 □ 障がい児支援機関等 □ 民生委員・児童委員 □ 小中学校等 □ 幼稚園・保育所等 □ 上記以外・一般

※会場に余裕はございますが、申し込み状況により定員からもれた方のみご連絡させていただきます。
※ご記入いただいた個人情報については、受付のみに使用し第三者に提供されることはありません。

※下記の札幌市のホームページからも申込用紙をダウンロードできます。

札幌市児童相談所 ＞ 児童虐待防止推進キャンペーン

https://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisou/boushigekkan.html

お問い合わせ

● 講演会の申込について
株式会社SAKURA（011-600-0195）
【受付時間】平日10:00～17:00

● 講演会の内容について（講演会の申込はできません）
札幌市児童相談所地域連携課（011-622-8620）

※この講演会は、札幌市が主催し、業務の一部を委託して実施するものです。

子ども虐待防止
オレンジリボン運動